

雌阿寒岳

○ 最近の雌阿寒岳の地殻変動

国土地理院の GEONET データをみると、2011 始め頃から、雌阿寒岳の北西に位置する観測点が、北北西方向に移動する地殻変動が始ったように見える。2008 年夏頃にも同様の変動が観測されたが、同年 11 月に小規模な水蒸気爆発が発生した。今回の変動の規模は 2008 年に比べると、現時点では小さい。

3/11 本震と余効変動を Forward で除去した
2 月—5 月間の水平変動

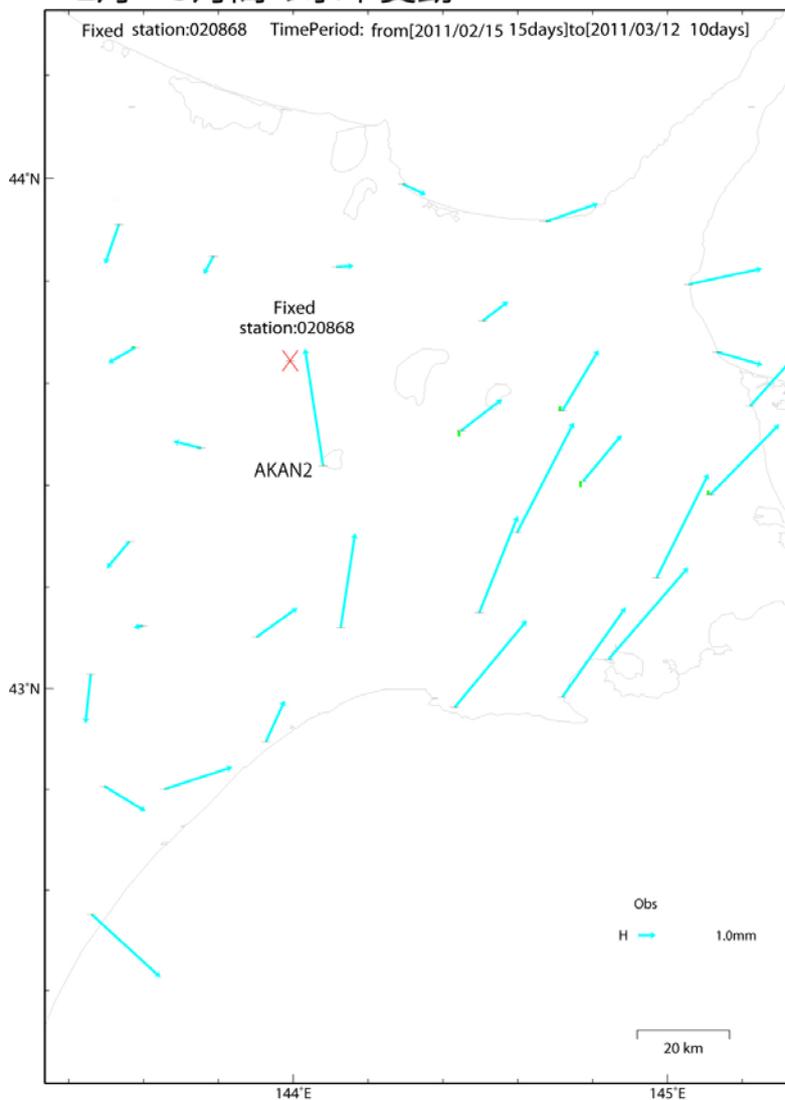


図-1 地震と余効変動を除去した水平変動。阿寒 2 が周囲とは異なる傾向の変動をしている。

Displacement Time-Series

Term : 2003/04/01 - 2011/06/02

Basis GPS Observatory : TSUBETSU[020868]

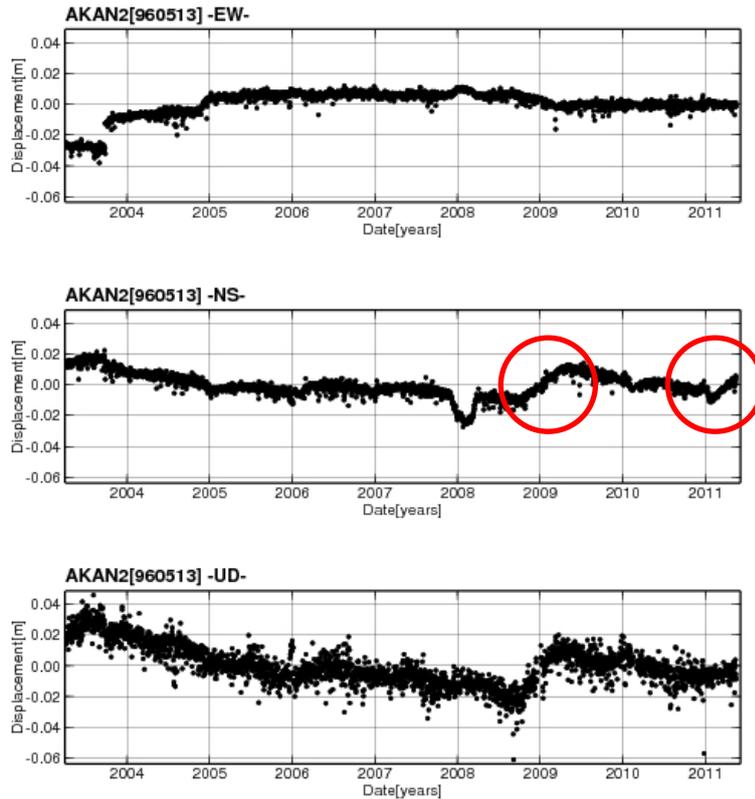


図-2 図-1 で固定点とした津別と阿寒 2 の地殻変動の推移
2003/04/01- 2011/05/14

阿寒 2 の北北西の水平移動の傾向がみられる他、隆起も始まった可能性がある。これらの傾向は、2000年から2009年にかけての変動傾向と類似している。なお、2003年のステップは、十勝沖地震である。また、2008年の春先と2011年の同時期には凍上と思われる、一時的な変化が発生している。2011/03/11の地震は、震源域との位置関係でこの基線には大きな変化はもたらしていないようである。

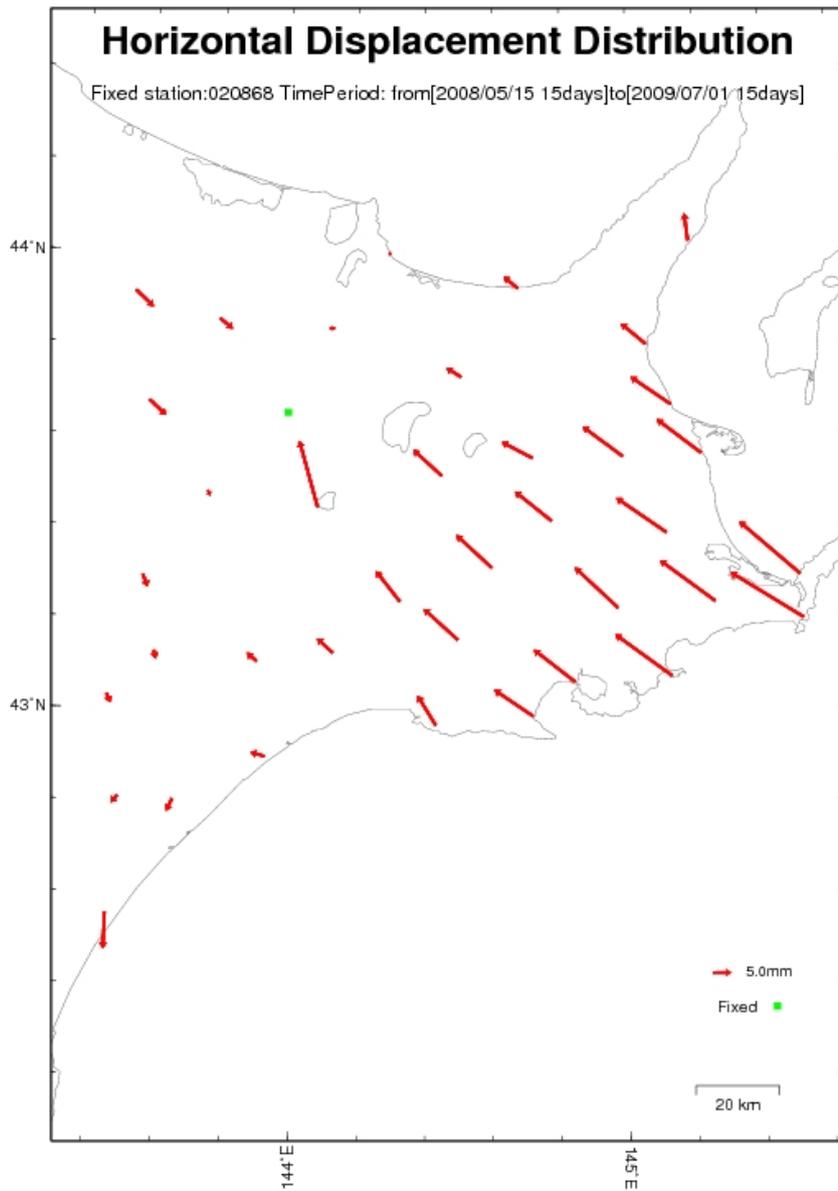


図-3 2008年の変動発生時の水平変動分布(参考)。観測期間は2008年5月から2009年9月である。この時も阿寒2が北北西に異動した。釧路や根室周辺の北西向きの変動は、太平洋プレートの沈み込みによるテクトニックな地殻変動であると考えられる。

謝辞： 本解析には、国土地理院が公表している GEONET データとデータ解析ツール INCA を使用した。